

平成31年4月8日(月)

2019(平成31)年度 始業式挨拶

今日から平成31年度そして新しい時代の幕開けである「令和」という時代がスタートしました。「令和元年」は「**唐津西高校イノベーション(革新)元年**」です。「令和」は万葉集からの出典で、意味は、「厳しい寒さのあと、美しく咲き誇る梅の花のような希望に満ち溢れた時代」だそうです。112年の歴史と伝統のある唐津西高校を、今まで以上に「令和」のごとく希望と笑顔溢れる素敵なお学校にしていきたいと思っています。ところで、皆さんは、それぞれ進級して新しいクラスで生活することになりました。そこで、年度の初めに当たり、より良いイノベーションを起こすために皆さんに心掛けてもらいたいことを三つ述べておきたいと思います。

一つ目は本校の教育姿勢である「**師弟同行(していどうぎょう)(共育)**」です。「師弟同行」はやや古い言葉ですが、先生と生徒が教育的活動を通してともに学びあう、励ましあうという意味です。学校は基本的に学ぶ場所です。一人では気が付かないことやできないことを、「教師・友人ともに集団生活を送ることで学ぶ」ということです。しかしながら、この学ぶというのは、机に座って教科の勉強をすることだけを指しているわけではありません。人は人によってしか変わることができない、と言われていています。部活動はもちろん、修学旅行や研修会、学級活動、休み時間のおしゃべりを通して成長してほしいと思います。人生は学びの連続であり、隣の席に座っている友人も立派な手本です。互いに切磋琢磨して基礎学力の向上に励み、高校時代に学ぶ姿勢を確立して、「師弟同行・共に育つという共育の精神」で頑張ってください。今年度も基本的な生活習慣の確立と基礎学力の定着・家庭学習の習慣化を重点目標に掲げたいと思います。

二つ目は「**朝(あした)に希望 夕(ゆう)へ感謝**」の気持ちです。学校という場所は、年齢も育った環境、価値観も異なります。互いの良いところ悪いところを認め合い、弱い人の立場や悲しみが理解できる「希望と感謝」を持った日々を過ごしてほしいと思います。この感謝の気持ちを持てば、高校時代に、生涯付き合える友人をたくさんできます。「希望と感謝で、相手の目で見、相手の耳で聞き、相手の心で感じて」ください。自分と相手の「命と気持ち」を大切にできます。

三つ目は「**明るい挨拶 気持ちの良い挨拶**」です。変化が激しい社会において大切なのは、主体性を持つということです。ともすれば、自分自身を見失いそうになることもあるかもしれません。そんな時こそ、誠実に生きていくことが重要であります。誠実な態度の基本は挨拶です。多くの大人が挨拶は大切だといいます。コミュニケーションをとる第一歩が挨拶だからその機会を失わないための挨拶です。「挨拶は、あ…明るく、い…いつも、さ…先に、つ…続けて」です。「明るい挨拶 気持ちの良い挨拶」を実践すれば、学校全体が明るく、気持ちよく過ごせる場となり、嫌な思いする人が減り、「いじめゼロ」となる学校を目指せると思います。

最後に、やればできる西高生です。朝、今日も頑張るぞという気持ちで希望を持ち、「明るい挨拶 気持ちの良い挨拶」で始まり、「師弟同行」の気持ちで学び合い、夕にすべての人に感謝すれば、皆さん一人ひとりの目標が達成でき、充実した高校生活が過ごせます。健康に留意し、責任ある行動を心掛け、挑戦できる有意義な一年「唐津西高校イノベーション元年」となることを祈念しています。